



今年の夏休みは41日間という暑くて長い期間でしたが、子どもたちはもちろん、保護者の皆さまもご家族でたくさんの思い出を作られたことと思います。

そんな夏休み中の8月4日(月)に、太田イオンで開催された「インクルーシブフェスタ」に参加しました。本校は、桐生清桜高校のダンス部の皆さんと一緒に「きりとく八木節」を披露。終業式直前に事前打ち合わせのために高校生10名が来校した時から、子どもたちは高校生に興味津々でした。初めて特別支援学校に来たという高校生と自己紹介をしたり、一緒に八木節を踊ったり、最後のポーズを決めたりと、たった一度の40分程度の交流でしたが、あっという間に打ち解けていました。当日も、高校生の上手なリードで子どもたちは発表を楽しみ、清桜高校のダンス部の演技にも魅了されていました。

この交流を通して、子どもたちは高校生の魅力に引きつけられ、高校生も本校の子どもたちの良いところをたくさん見つけて関わってくれました。地元桐生で育ち、学び、生きていく子どもたちの魅力を知ってもらうためにも、地域の少し年上のお兄さん・お姉さんと関わる機会を設けられたらと思った出来事でした。

さて、2学期は12月24日の終業式まで115日間(授業日は77日)あります。運動会や修学旅行(小学部5・6年生)、校外学習(中学部)、秋の遠足(小学部1～4年生)など、子どもたちが主役となって活躍できる場、そして楽しい思い出を作る場がたくさん待っています。夏休みの間だけでも大きく成長した子どもたちが、2学期にどれだけ心も体も成長するのか、今からとても楽しみです。(校長 齋藤由香)

特P協大会のご報告

群馬県社会福祉総合センターで7月25日(金)に開催された、令和7年度特別支援学校PTA協議会大会は、皆様のご協力のおかげをもちまして無事に終了いたしました。

今年度、本校が事務局校という大役を務めました。大会当日は会長、副会長をはじめとするPTA本部役員の皆様、そしてPTA会員の保護者の皆様には多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本大会は「共に学び共に生きる社会にあって 今、私たちは何ができるか」をテーマに掲げました。講演会では、群馬県ボッチャ協会の岩下美保様をお招きし、「共生社会の構築に向けて ～パラアスリートの成長から共生社会を考える～」と題してご講演いただきました。「一緒に楽しむ」というキーワードを軸に、「社会に一步出てみよう」という温かいメッセージが込められた講演は、参加者の皆さんの心に響くものとなりました。また、講演後には、パラアスリート協会普及メンターの岩下浩明様より、「湯けむり全スポぐんま2029」についてご紹介いただきました。

実践発表では、二葉特別支援学校と群馬大学共同教育学部附属特別支援学校の2校から、それぞれのPTA活動における工夫について発表がありました。どの発表も大変示唆に富む内容で、今後のPTA活動の参考になる貴重な学びの機会となりました。

ご協力いただいたPTAの皆様、心より感謝申し上げます。2年後には本校が発表校となります。今回の学びを活かし、さらにPTA活動を盛り上げていきましょう！



<ぐんまインクルーシブフェスタ2025 in イオン太田>

桐生清桜高校と八木節で共演しました。送迎等ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

